

学生団体 Change

横田 玲央奈（社会デザイン系）

キーワード：子ども，地域交流，イベント企画

1. 団体概要

学生団体 Change は地域課題を発見し，地域の課題を解決することや地域の輪を広げることを目的としており，人と人とのつながりを重視して活動しています。主に小学生以下を対象としたイベントを企画・運営しており，学生が主体となって活動することで世代間交流の場となることを目指しています。2019 年 6 月に発足し，現在は 2 回生 22 人，1 回生 14 人の計 36 人で活動しています。

2. 2024 年度の活動について

2024 年度の学生団体 Change の活動は大きく 3 つありました。

1 つ目は、公益財団法人 こども財団の協力のもと、明石しおさいライオンズこども食堂やはなぞのサポーターングランチ，駅前子ども食堂といった子ども食堂にボランティアとして活動を行いました。前年度に引き続きそれぞれの子ども食堂におられるスタッフの方と料理したり，子ども食堂に来る子どもとの遊びについて話したりと適切な関係を築くこともできました。また，子ども食堂でのお手伝いという立ち位置で参加するだけでなく，自分たち主体でメニューを考えたり，子どもや親御さんも一緒に楽しめる遊びを考案したりしました。

2 つ目は、「コープこうべ第 7 地区本部」の主催する様々なイベントにボランティアとして参加し，知識を深め，今後の活動に活かすことのできる多くの経験を積みました。以下にその活動を記しています。

① 坊勢島漁業体験（姫路家島）

「坊勢漁業協同組合」の方々のご協力のもと，船上での底引き網漁の見学や魚の選別体験，坊勢島での魚の中間育成施設や冷蔵施設の見学を行いました。また，イベントが円滑に進むように配付資料を配ったり，子どもたちとの会話を大切にしたりと積極的に活動を行いました。



写真 1 坊勢島漁業体験の船上で魚に触れる

② 防災料理教室（コープこうべコープ田寺）

コープこうべさんの調理室にてクッキングサポーターさん達と協力しながら，行われた防災クッキング教室「乾物ライフを楽しもう！ わたしもできるで〜！ポリ袋クッキング」では，ローリングストックや備蓄品などの防災知識を学びながら，実際に子どもだけでなく高齢者の方とも一緒に料理を行い，防災意識を高めることができました。また，イベント後には高齢者の方にミニスマホ講座を行うなど臨機応変にボランティア活動に取り組むことができました。

3 つ目は，学生団体 Change とコープこうべ第 7 地区本部が共催し，12 月 15 日に兵庫県立大学姫路環境人間キャンパスの体育館にてイベント実施を成功させることができました。「作ってあそぼう！子どもも大人もみんな集まれ〜！」と題して，コープこうべの高齢者サークルの方々が持つ遊びや Change が得意とする工作をプログラム内容とし，地域の子もたちと高齢者サークル，学生団体 Change の学生という多世代が交流できるイベントを企画しました。イベント当日は雨でしたが，事前に申し込みされていた子ども達とその親御さんと終始和やかな雰囲気遊ぶことができました。参加してくれた子どもたちからは，「また，ここで遊びたい！」「楽しかったです！」という感想も聞くことができました。



写真2 子どもたちが昔遊び（皿回し，絵本読み聞かせを見る）をしている様子

3. 活動を通して学んだこと

まず，子ども食堂の活動を通して，地域の方々の子どもへの関わり方を実際に見ながら学生だからこそ思いつく遊びや話しかけ方が大切だということを学びました。例えば，子ども食堂では一緒に食事するだけでなく，その場にいる子ども達同士が仲良く心地よい時間を過ごせることが重要です。子ども食堂に来ている異年齢の子ども達同士でももっと仲良くなれるよう，誰もができる折り紙や新聞紙を使った競争心くすぐる遊びなどを考案しました。このように，子ども食堂で最大限できる遊びを大学生目線で考え，実行することの大切さを学びました。

また，学生団体 **Change** 主体の多世代交流イベント（「作ってあそぼう！子どもも大人もみんな集まれ〜！」）では，コープこうべで行った高齢者サー

クルさんと学生団体 **Change** の交流会，数回の打ち合わせを経て成功させることができました。特に，多世代が交流しながら楽しめる機会をつくるには，どんなプログラム内容が良いのか考えることに苦労しました。それでも成功できたのは，コープこうべの高齢者サークルであるグループはこべさん，ミスターエイトさん，EM の会中播磨さんの昔遊びが魅力的で，学生もそれらを楽しみながら次の世代へと繋げる役割があると感じたからです。また，イベントを実施するに当たって，会場設営や広報など様々な準備が大切であることに気付き，コープこうべさんと共に無事怪我無く実施できたことを嬉しく思いました。

4. 今後の展望

2024年度は，去年に引き続き様々なイベントにボランティアとしてすることができました。コープこうべ第7地区本部様をはじめ，明石の子ども食堂の方たちなどいろいろな団体の方たちと活動することができました。特に，子ども食堂ではサポーターさん達とも適切な態度で関わることができ，2025年もこれら団体の方々への礼儀を忘れず，メンバー一人一人が主体的に関わり，**Change** の活動をさらに深めていこうという決意を持っています。そのため，今ある活動をメンバー内で把握し，自分たちがボランティアとして地域の子供たちには何ができるのか考えながらイベント計画，実施することを大切にしたいと考える。